

行政文書部分開示決定通知書

農園環 第743号

平成25年12月 9日

殿

宮城県知事 村井嘉浩



平成25年11月28日付けで請求のあった行政文書の開示については、情報公開条例第8条第1項の規定により、次のとおり一部を除いて行政文書の開示をすることを決定したので通知します。

行政文書の内容	「第18回全国EM技術交流会東北大会in七ヶ浜」開催に係る後援について
行政文書の開示の日時	平成25年12月12日 午後 3時00分
行政文書の開示の場所	行政庁舎地下1階県政情報センター
一部について行政文書の開示をしない理由	・情報公開条例第8条第1項第2号該当 対象行政文書には、氏名等、個人に関する情報が含まれており、これらの情報は、特定の個人が識別され、若しくは識別され得るもの又は公開することにより、個人の権利利益が害されるおそれがあるものであるため。
※一部について行政文書の開示をしない理由がなくなる期日	— 年 — 月 — 日
担当課(所)	農林水産部 農産園芸環境課 電話番号 (022) 211-2846 (直通)
備考	

(教示)

- この決定について不服があるときは、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に、知事に異議申立てをすることができます。
- この決定について不服があるときは、この決定があったことを知った日の翌日から起算して6箇月以内（この決定についての異議申立てを行った場合は、当該異議申立てに対する決定があった日から6箇月以内）に、宮城県を被告として仙台地方裁判所にこの決定についての取消しの訴えを提起することができます。

- (注)
- 指定された日時が都合の悪い場合には、あらかじめ担当課(所)へ御連絡ください。
 - 条例第7条第3項の規定により、この通知があった日から90日を経過すると、開示を受けることができなくなります。
なお、正当な理由によりこの期間内に開示を受けることができない場合には、担当課(所)へ御連絡ください。
 - 行政文書の開示を受ける際には、この通知書を提示してください。
 - ※印の欄は、一部について行政文書の開示をしない理由がなくなる期日をあらかじめ明示することができる場合に記入してありますので、当該期日以降改めて請求してください。

至急文書
付せん箇所



文書分類記号	N	2	4	—	1	5
保存年限	30・10・5・3・1年					

起案：平成 25年 9月 13日		文書の記号・番号		農園環第467号	
施行予定：平成 年 月 日		例文登録		指定様式	
決裁：平成 25年 9月 17日		農産園芸環境課 環境保全班 (電話 2846)			
		起案者 職氏名 技術補佐 宮田 将秀			
発送：平成 年 月 日		文書	課長	課長	班長
		審査	補佐	補佐	班員
浄書	校合	公印	發送		
(件名)					
「第18回全国EM技術交流会東北大会in七ヶ浜」開催に係る後援について					
このことについて、別案(1)件のとおり承認、通知してよろしいか伺います。(します。)					
(知事)		(副知事)			
農林水産部長		次長		次長(技術)	
農産園芸環境課長		副参事兼 課長補佐 (総括担当)		技術副参事兼 技術補佐 (総括担当)	
		環境保全班長		班員	
(合議部課)					
開示請求の状況			発送種別・取扱上の注意等		
平成 年 月 日請求		平成 年 月 日請求		□親展 □書留 □速達 □配達証明 □内容証明	
□開示 □一部開示 □非開示		□開示 □一部開示 □非開示		□小包 □電報 □はがき □公報登載 □官報登載	
非開示理由：第 号に該当		非開示理由：第 号に該当		□その他()	

事務の効率化で時間短縮を、資料はワンペーパー方式で

起案理由

平成25年9月9日付けで第18回全国EM技術交流会東北大会実行委員長から申請のあった標記の件について、「各種行事に対する後援に係る事務取扱要綱」（平成17年4月1日施行）第5条第2項に基づき同第6条の後援の基準により確認したところ、支障ないと認められることから、案のとおり後援名義の使用を承認してよろしいか伺うもの。

なお、後援可否のチェックリストは別紙のとおり。

記

1 申請者 第18回全国EM技術交流会東北大会実行委員会委員長

2 対象行事

- 1) 名称 「第18回全国EM技術交流会東北大会in七ヶ浜」
- 2) 趣旨 別添企画書 東北大会開催趣旨のとおり
- 3) 開催日時 平成26年3月15日（土）午後1時から午後5時30分まで
- 4) 開催場所 七ヶ浜町 国際村

(案)

農 園 環 第 号
平成25年 9月 日

第18回全国EM技術交流会東北大会in七ヶ浜 実行委員会委員長（殿）あて

宮城県知事 村井 嘉浩

「第18回全国EM技術交流会東北大会in七ヶ浜」に係る後援について（通知）
平成25年9月9日付けで申請がありましたこのことについて、下記のとおり後援名義の使用を承認します。

記

- 1 後援名義 「宮城県」
- 2 注意事項
 - (1) 内容に変更が生じた場合は、速やかに届け出てください。（届出がない場合は、無断使用とみなします。）
 - (2) 行事終了後は、速やかに実施結果を報告してください。
 - (3) 行事の実施に当たっては、事故の防止に十分注意してください。

担当：農林水産部 農産園芸環境課
環境保全班 佐藤，宮田
TEL:022-211-2846 FAX:022-211-2849

行事内容の変更届

年 月 日

宮城県知事 又は 地方機関の長 殿

（申請者）住所及び連絡先

氏名（団体名及び代表者氏名） 印

年 月 日付け（文書番号）で後援を受けた行事について、下記のとおり行事の内容を変更しましたので、届け出ます。

記

（変更の内容を記載）

（行事名）の実施結果報告書

年 月 日

宮城県知事 又は 地方機関の長 殿

（申請者）住所及び連絡先

団体名及び代表者 印

年 月 日付け（文書番号）で後援を受けた行事については、下記（又は別添報告書）
のとおり実施しました。

記

- 1 実施日又は実施期間
- 2 実施場所
- 3 参加者数
- 4 その他（実施の概要）

（添付資料）当日配布したパンフレットその他の配布物（必要に応じて）

※ 実施概要を取りまとめた冊子等がある場合は、記以下の記載事項を当該冊子の添付
に代えることも可能

チェックリスト(各種行事に対する後援に係る事務取扱要綱第6条関係)

番号	項目	チェック	備考
(1)	当該行事を完遂する能力があるもの又は団体による主催であること。	本行事は、東北EM普及協会が主催する行事であり、各地域の普及協会が過去にも開催していることから完遂能力には問題ないと判断される。	近年の開催状況(参加者数) 平成24年:北海道(約1,000名) 平成23年:福井県(約 750名) 平成22年:熊本県(約 900名) 平成21年:愛知県(約 800名)
(2)	本県の施策に合致し、本県の地域振興、産業振興、文化振興その他県民生活の向上に寄与する公益性があること。	本行事では、農地の土壌改良の一手段としての技術が紹介されるとともに、技術交流・情報交換がなされる予定である。環境保全型農業の推進や地域活性化の一助となるものと考えられ、問題ないと判断される。	
(3)	宗教的又は政治的な目的を有しないこと。	本普及協会は環境保全型農業や水質浄化等を推進しており、問題ないと判断される。	
(4)	法令に違反しないこと。		
(5)	暴力行為、迷惑行為その他社会的な非難を受ける行為を伴うおそれがないこと。	過去の開催実績及び実施要綱に基づき開催される予定であり、特に問題はないと判断される。	
(6)	不特定多数の者を対象とすること。	当該行事については、不特定多数の者を対象としており営利を目的としていない。	
(7)	営利を目的としないこと。	(資料代のみ徴収)	
(8)	その他決裁責任者が不相当と認めることが無いこと。		

後援申請書

25年 9 月 9 日

宮城県知事 又は 地方機関の長 殿

（申請者）住所及び連絡先

氏名（団体名及び代表者氏名） 印
第18回全国EM技術交流会東北大会in七ヶ浜
実行委員会委員長



下記の行事について、県の後援を申請します。

記

1 行事の名称

第18回全国EM技術交流会東北大会in七ヶ浜

2 行事の趣旨、目的

3 行事の概要

企画書添付

4 行事の実施日時、実施期間

5 行事の実施場所

6 希望する後援名義

宮城県

7 （その他決裁責任者が必要と認める事項）



NO	氏名	役割	備考	NO	氏名	役割	備考
1	相澤 孝弘	実行委員長	大崎市議会議員	21	██████████		東北EM普及協会会員
2	██████████		みやぎEM実践ネット会長	22	██████████		"
3	██████████		東北EM普及協会理事	23	██████████		EMエコクラブみやぎ会長
4	██████████		"	24	██████████		東北EM普及協会会員
5	██████████		"	25	██████████		"
6	██████████		"	26	██████████		"
7	██████████		"	27	██████████		"
8	██████████		"	28	██████████		自然農食みやぎ会長
9	██████████		"	29	██████████		みやぎEM実践ネット役員
10	██████████		"	30	██████████		"
11	██████████		東北EM普及協会監事	31	██████████		"
12	██████████		"	32	██████████		"
13	██████████		東北EM普及協会理事	33	██████████	事務局長	東北EM普及協会事務局長
14	██████████		"	34	██████████	副局長	東北EM普及協会事務局
15	██████████		みやぎEM実践ネット役員	35	██████████	事務局	東北EM普及協会副会長
16	██████████		"	36	██████████	事務局	東北EM普及協会理事
17	██████████		"	37	██████████	事務局	EMエコクラブみやぎ事務局長
18	██████████		"	38	██████████	事務局	東北EM普及協会理事
19	██████████		"	39	██████████	事務局	東北EM普及協会事務局
20	██████████		"	40	██████████	事務局	"
				41	██████████	事務局	"

閱覽書類

平成25年6月24日改訂

東日本大震災復興推進大会

第18回 全国EM技術交流会
東北大会 in 七ヶ浜

企画書

主催：第18回全国EM技術交流会 東北大会 in 七ヶ浜 実行委員会

後援：検討中

開催日時：2014年3月15日（土）13:00～17:30

開催場所：七ヶ浜町 国際村ホール

1. 東北大会開催趣旨：

平成 23 年 3 月 11 日午後 2 : 4 6 に発生したマグニチュード 9 . 0 の東日本大震災以来、今日まで復興のために全国各地から数え切れない多くの方々より、ボランティア活動をはじめ、義援金、EM 資材の物資提供、心温まる励ましの言葉など、物心両面の支援を頂き、ここまでに復旧することが出来ました。

しかし、復興は住居、ライフライン、職場など、多岐にわたり道半ばであり、なすべき事は山ほどあります。

本大会開催の願いは、東北の復興推進であります。

この大会を機に、幸福度の高い生活を確立すべく、生活・環境などあらゆる場面に EM を活用して、今まで以上に住み良い、希望に満ちたまちづくりを目指して、復興の推進に貢献していきたいと思えます。

最後になりましたが、被災された多くの皆様に、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。また、全国の EM 普及協会、EM 関連団体の関係者、その他多くの皆さまのご支援に、改めて心より感謝を申し上げます。

2. テーマ : 生き甲斐のある新しい東北の復興を
未来の子どもたちのために
3. 副題 : ~「人と人との心の絆」をたいせつに~
4. 主催 : 第 18 回全国 EM 技術交流会 東北大会 in 七ヶ浜 実行委員会
5. 後援 : 検討中 七ヶ浜町、EM 関連団体、他各団体
6. 名称 : 第 18 回全国 EM 技術交流会 東北大会 in 七ヶ浜
7. 開催日時 : 2014 年 3 月 15 日 (土) 13 : 00 ~ 17 : 30
8. 開催場所 : 七ヶ浜町 国際村 577 名収容
9. スケジュール
13 : 00 ~ 13 : 30 開会宣言 オープニング

七ヶ浜町町長（大会会長）挨拶

- 13：30～14：00 数人挨拶
14：00～15：00 事例発表
15：00～15：15 休憩
15：15～16：30 事例発表
16：30～17：30 比嘉先生講評および講演
17：30 閉会挨拶
18：30～20：00 懇親会

10. 1) 実行委員会会長 一相澤会長

2) 事務局長 一 _____

3) 来賓（案）

ツルネン議員、その他地元有力議員（高橋比奈子議員）

4) 発表者

4～5名《案》

○東北地元（地元で長年EM活動されている方）

①石巻市 _____

②石巻市 _____

③復興支援プロジェクト _____

④ _____ (十三浜ワカメ養殖)

⑦ロシアのボランティア支援 _____

5) 最初のオープニング

地元の太鼓、踊りなどあれば盛り上がる。

案①＝古川八百屋市踊り

案②=『花は咲く』合唱

6) 懇親会

多賀城キャッスルホテル内の大宴会場 (立食500名収容)

懇親会参加人数200名~300名

参加費は5,000円 (料理3,000・飲料2,000)

7) 七ヶ浜町の町民招待

七ヶ浜町、社会福祉協議会 (招待席100席程度)

他、七ヶ浜町の地元の住民の参加を呼び掛ける

8) 参加費 (資料代) 1000円チケット販売

EM 関連団体のホームページ等にチケット問い合わせ掲載依頼

9) 宿泊場所、交通手段検討

多賀城キャッスルホテル *送迎バスあり

前日20室、当日50室 仮押さえ

11. その他

1) 実行委員会・名簿添付

2) 事務局員・名簿添付

事務局担当

・ 広報=ポスター、パンフ、当日しおり作成

・ 渉外=来賓者、後援依頼、協賛広告

・ 事例集=発表者原稿集め

・ 当日企画=運営スタッフ、懇親会、交通手段選定、

出展ブース選定 (EM 商品、ずいうん商品)

・ 経理

・ その他=

3) 事務局の所在=東北EM普及協会

4) 銀行口座の開設=事務局長名で口座開設

5) 予算規模

収入：¥2,600,000

支出：¥2,500,000

6) 事例集の内容

案) 発表者だけの事例+協賛広告+EM活用マニュアル

7) 全国EM普及協会 代表世話人=

事務局=EM研究所

8) その他

支出の部

		数量	単位	単価	単位	金額	単位	摘要
事例集製作費	編集費		式		円		円	
	製本費	2,000	部	350	円	700,000	円	
ポスター、チラシ	デザイン費	1	式	20,000	円	20,000	円	
チケット		1	式	10,000	円	10,000	円	
ポスター	印刷費	100	枚	280	円	28,000	円	A3版
パンフ		3,000	枚	15	円	45,000	円	A4版(A3版を縮小)
チケット		1,000	枚	10	円	10,000	円	
				枚		円	0	円
CD		1	枚	2,100	円	2,100	円	
ビデオ器材レンタル		1	式	50,000	円	50,000	円	2台持参
通信費	案内状送付	200	通	80	円	16,000	円	含、チケット送付
講演会	会場費	1	式	0	円	0	円	七ヶ浜町好意で無料
	設営費、スクリーン他、看板、マイク、					0	円	
	演武、太鼓	1	式	50,000	円	50,000	円	未定
通信費	電話、FAX	1	式		円	0	円	
事務費		1	式		円	0	円	
懇親会	飲食費	200	人	5,000	円	1,000,000	円	酒など飲物込み
	食材費	1	式		円	0	円	EM食材は未定
袋		600	枚	50	円	30,000	円	
リボン他(ネームプレート)		1	式			0	円	スタッフ、来賓用
花代		1	式	10,000		10,000	円	演台用、贈呈用3
旅費、駐車料金			人			0	円	実行委員会
旅費交通費		1	名	100,000	円	100,000	円	無料かも
"	発表者平均額	5	名	20,000	円	100,000	円	発表者5名分
司会謝礼		1	名	30,000	円	30,000	円	
	宿泊	4	泊	10,000	円	40,000	円	2泊分
発表者宿泊		5	泊	8,000		40,000	円	シングル5部屋
3月14日打ち合わせ食事会		1	式	50,000	円	50,000	円	発表者
スタッフ弁当代		100	個	1,000	円	100,000	円	弁当、茶
印鑑		1	式		円	0	円	領収書用
			回		円	0	円	
			人		円	0	円	
サンロード手数料		1	式		円	0	円	
協賛金郵便振替手数料						0	円	
			名		円	0	円	腕章・装飾御礼他
DVD作成		100	枚	500	円	50,000	円	発注済、未払い
合計						2,481,100	円	

2013年5月20日

収入の部

		数量	単位	単価	単位	金額	単位	摘要
大会入場券	前売り券	500	枚	1,000	円	500,000	円	
	当日券	20	枚	1,500	円	30,000	円	
	無料招待分	100	枚	0	円	0	円	
懇親会	前売り券	200	枚	5,000	円	1,000,000	円	
	当日券	10	枚	6,000	円	60,000	円	
協賛広告料	東北		口				円	東北地元は広告なし
	EM研究所扱い	30	口		円	600,000	円	協賛広告
	各普及協会	8	口	50,000	円	400,000	円	支援協賛広告
事例集販売	大会配布用	600	冊	0	円	0	円	
	事前配布用	200	冊	0	円	0	円	後援、広告主など
	事後配布用	200	冊	0	円	0	円	
			冊		円		円	
ブース出店料		1	件	10,000	円	10,000	円	瑞雲、流通センター、他
ご祝儀			口		円	0	円	
寄付金			口			0	円	
食材代寄付金			口			0	円	
合計						2,600,000	円	